

琵琶湖1周楽しむ自転車ガイド本 飲食店やトイレ情報も



発売された「ぐるっとびわ湖自転車の旅」

自転車で琵琶湖1周を楽しむための公式ガイドブック「ぐるっとびわ湖自転車の旅」が完成した。滋賀県や地元の環境団体などで作る「輪の国びわ湖推進協議会」(事務局・彦根市)の会員らが実際に自転車で走って調査した。担当者は「車では気づかない滋賀の良さを再発見してほしい」と話す。

輪の国びわ湖推進協議会は、琵琶湖1周サイクリングの普及を目指して2009年10月に発足。ガイドブックの作成のため昨年3月から計12人のメンバーが自転車で実際に走りながら道の状態や周辺のおすすめスポットを調べた。

協議会の副会長、竹内洋行さん(39)は彦根市のNPO法人「五環生活」が運営する自転車タクシーのドライバー。彦根市から高島市までの約80キロを担当し、仕事の合間を縫って約3カ月間、カメラやメモを持参して何度も行き

来した。「初めての人でもどうしたら楽しく走れるのかを意識した」という。

出来上がったガイドブックはA5判112ページ。琵琶湖1周約200キロを8コースに分けて紹介し、距離や所要時間のほか、立ち寄り可能な飲食店、観光情報などを写真付きで紹介している。琵琶湖1周以外にも、東海道や中山道など県内各地を巡る計22コースを紹介。初心者向けの自転車や必要な装備の説明なども掲載し、地図にはサイクリングに欠かせない情報としてトイレ、パンク修理をしてくれる自転車店、休憩所などを盛り込んだ。

協議会では琵琶湖1周の認定書(ヨシ紙製)も発行しており、琵琶湖の周囲14カ所に設けたQRコードのうち4カ所を携帯電話のカメラで読み込んで申請すると受け取れる。今月23日現在で495人が認定書を取得しており、5周達成にはシルバー、10周達成でゴールドのステッカーも授与している。取り組みは、ガイドブックでも紹介している。

初版約5千部で、県内の書店などで販売。定価1260円。問い合わせは同協議会(0749・26・1463)。(堀川勝元)